



学校だより

絆の草中

草野中学校 令和4年度第3号
令和4年5月20日
文責：校長 西田 英実

前期生徒会総会が開かれました

4月28日（木）、リモート方式により前期生徒会総会が開かれました。今年度前期の生徒会活動方針が承認され、正式に活動が開始されました。

生徒会本部は、生徒会活動全体をリードしています。生徒会だより「共育」第1号も発行されました。各学級委員長の抱負を紹介し、学級活動の充実をサポートしています。また、各委員会の活動も軌道に乗ってきました。

生徒会活動は、充実した学校生活を支え、より良くしていくための自発的、自治的な活動です。係としての責任を果たしながら、さらに内容を改善・充実させるなど積極的に活動できるように、委員会顧問を中心に指導していきます。この積み重ねにより、やがて卒業後は、地域社会の形成者として自治的な活動や奉仕活動につながっていくことも期待しています。



テレビモニターを見ながら会議に参加する生徒

市中体連に向けて頑張っています

5月13日（金）、各部活動の大会で活躍した部や個人への表彰伝達を行いました。コロナ禍で集会活動が限られるため、放送により、全校生に披露しました。どの生徒も姿勢が良く、立ち姿が美しいことに感心しました。しっかりした心構えが表れていると思います。

どの部活動も大変よくがんばっています。3年生にとっては、いよいよ最後の大きな大会である「いわき市中学校体育大会（いわき市中体連）」がせまってきました。それぞれの目標に向かってさらになんばってほしいと思います。



表彰を受けた生徒（団体は代表生徒）

感染症拡大防止の対策を継続していきます

新型コロナウイルス感染症の拡大が続いています。福島県やいわき市では予防対策を延長し、5月31日（火）まで「集中対策期間（延長）」として取り組んでいます。子どもの感染拡大防止が重点

です。本校でも対策を継続しています。特に留意しているのは次の点です。

- 1 教室の換気やマスク、手指消毒など基本対策を怠らない…教室の二酸化炭素濃度計で、換気状況を常に測定しています
- 2 感染リスクの高い学習活動は行わない…長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等は停止
- 3 部活動で、練習試合・各種大会に参加する場合も、感染対策と健康管理を徹底して行う

本校は教育活動を止めることなく、コロナ対策をしながらの教育活動を平常通り行うことができます。保護者並びに地域の皆様のご協力のおかげです。今後とも、ご理解とご協力をお願い致します。



給食前に全員が手洗いをしています



給食委員会の生徒が給食当番の手指を消毒しています



給食後、お盆をきれいに洗って干します

本校で推進していく「キャリア教育」について その1

本校では、子どもたちに確かな学力や豊かな心、健康な心と身体を育てるために、キャリア教育の視点を入れて教育活動を進めてまいります。

キャリア教育とは、生徒が、将来、社会的・職業的自立を果たし、自分らしく生きていくために必要な資質・能力・態度を育てることです。今回は、キャリア教育で育てる4つの力を紹介します。

1 人間関係形成・社会形成能力（言葉で、心で関わる力）

様々な人と関わり、つながりをもっていくための、人間としての基本的な力です。思いやりやいたわりの心、感謝の心も含まれます。

また、家族や集団、組織、地域の中で自分の役割を自覚し、その役割や責任を果たしていこうとすることも大切な力です。

例 お子さんは、自分からあいさつができますか。家の手伝いはしているでしょうか。

2 自己理解・自己管理能力（自分を知り、自ら動く力）

自分の長所や短所を理解し、良いところを伸ばし、発揮することはひとりの人間として生きていく上でとても大切です。自分の長所、適性（向き・不向き）が理解できれば、将来の職業生活、社会生活に生きがいをもって豊かに生きることにつながります。

また、自分の健康管理、夢や目標に向かって困難に負けずに進んでいく力も大切です。これらは一朝一夕に身に付くものではありません。日頃の習慣が人となりをつくっていきます。中学生の時期は「自主性」を養いたいです。

例 お子さんは朝、自分で起きていますか。苦手なことにも取り組んでいますか。

明確な目標や目的をもって生活できているとよいです。

3 課題対応能力（考えて、やりとげる力）

人は、生きていく上で、様々な問題にぶつかるものです。家族の間でも人間関係の問題が生じます。学校で勉強をしたり、職場で仕事をしていけば、困難や壁にぶつかることがあります。そのような時に、問題を冷静に受け止め、分析し、解決方法を考え、実際に行動していく・試してみる資質・能力・態度は必須です。

例 お子さんは、分からないことやもっと知りたいことがある時、自分で調べたり、誰かに質問をしていますか。Google（つまりネット）のほかどんな解決方法がありますか。

4 キャリアプランニング能力（先を見通し、人生を切り拓く力）

様々な情報を的確に集め、判断し、自分の将来像を描き、自分の未来を切り拓いていく資質・能力です。それは、「高校や大学選び、就職先選び」にとどまりません。どのように生きることが自分にとって、あるいは自分の家族、身の回りの人々にとって望ましいのか判断して、よりよい人生を生きようとするにつながります。

特に、20年後、今ある職業の半分がなくなるかもしれない、という現代社会。先を見通す力は、この社会をたくましく生き抜いてほしい今の中学生に是非、身に付けさせたい力です。もちろん、自分さえよければ、ではなく、よりよい社会を築いていく社会参加の態度が求められます。

例 お子さんは、将来の夢や目標を持っていますか。なかなか難しい時代ですね。【次回へ続く】

<今後の予定>

日	曜	おもな行事
23	月	現職教育等研修 ※ 13:45 下校
24	火	中間テスト
25	水	尿検査
26	木	学校評議員会
27	金	市中体連壮行会 3年卒業アルバム撮影
30	月	市中学校教育研究会 ※ 13:45 下校
31	火	
6/1	水	教育事務所長訪問
2	木	市中体連陸上競技 ↓ 弁当
3	金	↓ 弁当

<今週の言葉>

◎「定期テスト」

来週は、中間テスト、6月には期末テストがあります。各学期の決められた時期に、まとまった広い範囲の学習内容が出題範囲となる試験です。学習評価の一つです。

生徒にとっては自分が学習したことをどれだけ身に付けたかを試す場面です。学習評価の資料としても大切です。一方、教師にとっては、指導した内容がどれだけ生徒に身に付いたか指導を振り返り改善に活かすことにもなります。

中学1年生は初めてで、とまどうかもしれません。学校では、「学習計画」を立て学習に取り組むように指導してきました。あと少しの期間、何をすればよいか考えて取り組ませたいものです。